

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	Academic English for the Second Year II		
英文授業科目名	Academic English for the Second Year II		
開講年度	2007年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 電子工学科 知能機械工学科 システム工学科		
担当教官名	山田 直道		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nymd@rg8.so-net.ne.jp	

【主題および達成目標】
<p>火3限、ET学科：マス・メディアの時事的トピックを扱った教科書を用い、英字新聞を読むための入門授業として時事英語に慣れることを目指す。</p> <p>火4限、CM学科：現代イギリス口語英語をベースにした短編小説を精読かつ速読し、作家の描く世界で何が起きたかを批判的に読み解くと同時に、現代英語の口語表現に慣れ親しむことを目指す。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
3、4限とも特に無し。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
3、4限とも特に無し。

【教科書等】
<p>3限、ET学科：ノーマ・リベラー、根間弘海著『ニュースからヒストリーへ』（Current History）南雲堂、1800円＋税</p> <p>4限、CM学科：高儀進注『ジョン・ウェイン最新短編集』（The Life Guard & Other Stories）開文社、1100円</p> <p style="text-align: right;">（ともに、前期使用の教科書と同じ。）</p>

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

- 3 限：毎時間各ユニットの本文 2 編を読解し、テープを用いたディクテーション、英作文、語彙養成等を同時並行で行い、事前の予習と授業でのチェックをリンクさせる。教科書のUnit 7以降を学習範囲とし、毎回全員に当たる。
- 4 限：訳読形式。語彙習得と発音矯正に留意しながら、内容を正確に理解する。教科書の第 2 編(p.41～)から読み始め、事前の予習と授業での正誤照合をリンクさせる。毎回全員に当たる。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- 3 限：方法 = 出席、授業への貢献度、発表等の平常点が 30%、期末テストの成績が 70%の割合で評価。
基準 = いかにもマス・メディアの英語を正確に理解し、その基礎的な知識をどれだけ習得したかに置く。
- 4 限：方法 = 3 限と同じ。
基準 = 現代イギリス口語英語表現にいかにも馴染んだかに置く。

【オフィスアワー：授業相談】

- 3、4 限とも特に設けない。授業中に質問等を適宜受け付ける。

【学生へのメッセージ】

- 3、4 限とも、事前の下調べ 授業でのチェック、を徹底的かつ継続的に行って欲しい。

【その他】

- 3、4 限とも特に無し。